

市町村名		多良間村				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療 福祉における住民サービスの向上
担当部署名	教育委員会	教育課	事業実施 年度	平成 29	令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-3-(1)
事業内容	雨天後のグラウンドの環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを200M×8レーン分のタータンを敷くことで全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
	A. 予算現額	4,752	19,919	112,076	170,929	307,676
	B. 執行済額	4,752	19,861	110,888	170,929	306,430
	うち 交付金充当額	3,801	15,888	88,710	136,743	245,142
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.7%	98.9%	100.0%	99.6%
執行状況の説明	最終的な執行率は99.6%となり計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	施設整備工事の実施	目標	(実施設計の作成)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)
		実績	実施設計の作成	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施
			目標			
			実績			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況			
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	整備工事の完了	目標	(実施設計の作成)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施・完了)
		実績	実施設計の作成	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施・完了
			目標			
			実績			
		目標				
		実績				

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度 目標/発現年度				
<b>事業完了後の成果目標</b>	【R3成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止、日程変更等の回数0回	目標	0回			
		実績	0回			
		目標				
		実績				

<b>状況説明</b>	【R3年度】 ・雨天後でもグラウンドの状況は悪化しないので、児童生徒の部活動の練習、また村民の健康増進、ウォーキング、ジョギング等に利用されている。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R3年度】 ・雨天後でも児童生徒の部活動の練習や村民の健康増進のために利用されており、事業効果を発揮している。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度】 ・さらなる村民の利用促進につなげる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
---	--

**今後の取り組み方針** (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】 ・村民のグラウンド利用促進につなげるために、体育協会、健康増進課などと連携し、村主催の大会を実施するなど、グラウンド利用を促す。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--

市町村名	多良間村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	多良間村防災体制構築事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-I 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部課名	総務財政課	事業実施 年度	令和 2 ~ 令和 2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	地域防災計画に基づき、職員向けの初動マニュアルの作成を行うとともに、地域防災計画の作成過程で整理した災害情報を基に、現行の防災マップ等の作成を行う。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和2年度			合計	
	A. 予算現額	13,706			13,706	
	B. 執行済額	13,706			13,706	
	うち 交付金充当額	10,964			10,964	
	執行率(%) (B/A)	100.0%			100.0%	
執行状況の説明	最終的な執行率は100%となり、計画通りに更新、策定することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	年度	年度	年度
	・地域防災計画の更新	目標	(更新)			
		実績	更新			
	・職員初動マニュアルの見直し	目標	(更新)			
		実績	更新			
	・津波避難計画の作成	目標	(策定)			
		実績	策定			
	・防災マップの作成	目標	(策定)			
		実績	策定			
	・避難所運営マニュアルの作成	目標	(策定)			
		実績	策定			

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R2年度	R3年度		
	地域防災計画・職員初動マニュアル・津波避難計画・防災マップ・避難所運営マニュアル・本部事務局マニュアルの策定完了	目標	策定			
実績		策定完了				
【R3成果目標】 避難訓練参加者(年1回)の満足度 (安全に避難・誘導できたと答えた割合)	目標		90%以上			
	実績		90.2%			
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
			R3年度 目標/発現年度			
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果  避難訓練参加者(年1回)の満足度(安全に避難・誘導できたと答えた割合)	目標	90%以上			
実績		90.2%				
	目標					
	実績					

の 成 果 目 標	状 況 説 明	<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練参加者へアンケートを実施した結果、安全に避難・誘導できたと答えた割合は90.2%となり目標を達成することができた。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
	<b>【完了後】事業効果等の確認</b> <small>(施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)</small>	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> <small>(事業効果の更なる向上等)</small>
<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波注意報発令時において、防災対応が十分に発揮できなかった。防災意識の向上や津波・地震の災害への対応不足等が課題。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制の整備を図るため、マニュアルの浸透のための勉強会や避難訓練の実施が必要である。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)		
<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアル等を活用し職員や関係機関と状況に応じた勉強会、避難訓練を行い、防災体制の整備・充実に取り組む。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>		

市町村名	多良間村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産体制の整備		
担当部課名	産業経済課	事業実施 年度	平成 27	~ 令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	生産農家が経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。 優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	8,000	12,000	8,000	8,000	36,000	
	B. 執行済額	7,814	11,939	7,929	7,904	35,586	
	うち 交付金充当額	6,251	9,551	6,342	6,323	28,467	
	執行率(%) (B/A)	97.7%	99.5%	99.1%	98.8%	98.9%	
執行状況の説明	概ね、予算執行されている。不用額については、補助額上限に満たない個体によるもの。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	目標	20頭	20頭	30頭	20頭	20頭
		実績	6頭	17頭	30頭	20頭	20頭
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合121.6%	目標	-	-	-	121.6%	112.5%
		実績	-	-	-	113.3%	111.3%
	優良繁殖雌牛導入の支援完了頭数:20頭	目標	20頭	20頭	30頭		
		実績	6頭	17頭	30頭		
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度	
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合112.5%以上		目標	-	-	-	121.6%	112.5%
			実績	-	-	-	113.3%	111.3%
			目標					
		実績						
状況説明		【R2年度】 ・価格差が113.3%となり目標の121.6%を下回っている。  【R3年度】 ・価格差が111.3%となり目標の112.5%を下回っている。  【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によってセリ価格が下落し価格差も減少したものと考えられる。また、県内平均子牛価格を下回っており継続していく必要がある。  【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染の影響によるセリ価格自体については回復傾向にあるが、キロ別単価でみると低い状況化であり、価格差へも影響を及ぼしている可能性がある。  【 年度】 ・			【R2年度】 ・新型コロナウイルスの影響によるセリ価格の下落においても価格差は現れている事から継続していく必要がある。また、系統の情報共有等を行い、優良種の種付けを進めて行く必要がある。  【R3年度】 ・価格差は現れている事から生産農家への支援を継続していく必要がある。また、引き続き系統の情報共有等を行い、優良種の種付けを進めて行く必要がある。  【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・和牛改良組合等の関係機関と連携し優良種雄牛の種付けの推奨等を行っていく。また、畜産農家高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続ける事で担い手や新規就農者の確保を図っていく。  【R3年度】 ・和牛改良組合等の関係機関と連携し優良種雄牛の種付けの推奨等を行っていく。また、畜産農家高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続ける事で担い手や新規就農者の確保を図っていく。  【 年度】 ・								